

わ

が

街

わ

が

故

郷

(株)ツバキ・ナカシマと  
奈良県大和郡山市

(株)ツバキ・ナカシマ精機事業部（郡山工場）

と、その地大和郡山市周辺についてご紹介いたします。

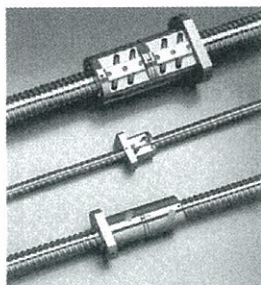
1. 精機事業部（郡山工場）の紹介

〒639-1037

奈良県大和郡山市額田部北町652番3号

TEL 0743-56-1271（代表）

〈精機事業部製品群〉



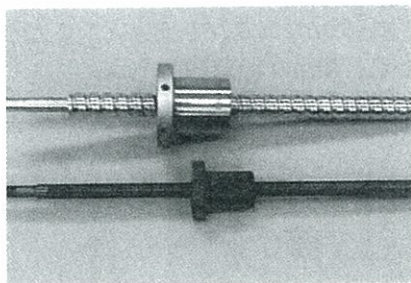
精密ボールねじ



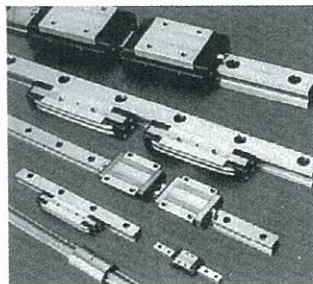
精機事業部全景

当社は、この地に昭和44年（1969年）8月、工作機械用送りねじ（ボールねじ）の生産拠点として本社工場の一部を移転し、以来現在までボールねじをはじめとしたさまざまな製品を世界各地に供給しています。

当初よりボールねじの高速化、高剛性開発に取り組み、近年では低騒音、好音質、低振動化を実現し、常にお客さまにご愛顧いただけるよう新技術並びに新製品の開発に努めています。



精密ボールねじFBシリーズ



ボールウェイ

## 2. わが街の紹介

### 大和郡山市の位置等

大和郡山市は奈良県の西北部奈良盆地の北部に位置し、東西は奈良盆地の平坦部、西北部の一部は生駒山脈を形成する西の京丘陵、矢田丘陵からなり、大和川の支流である佐保川、富雄川が流れる閑静な城下町であります。



交通機関は、近鉄橿原線が南北へ、JR西日本大和路線が東西へ走り、また、南北には国道24号線、東西には国道25号線と西名阪道路が走り、京阪神ならびに名古屋方面に通じています。

また現在、京都、奈良、和歌山を結ぶ京奈和自動車道の建設が急ピッチで行われ、大和郡山から橿原まで一部開通し、生活圏における重要な道路の一つとなっています。

当社は、低開発地域工業開発促進法に基づき、昭和39年から5ヶ年を費やし、132万㎡におよぶ昭和工業団地が地域の土地の高度利用、工業生産力の増強、所得水準の向上を目的として造成され、電子・工作機械などの先端技術産業、メリヤス、皮革産業等の2つの特色を持った内陸工業都市として開発され、現在誘致企業約90社となる工業団地の西南部に位置しています。

### 大和郡山市の歴史

郡山に集落が誕生したのは、縄文後期から弥生時代です。「郡山」の名が登場するのは、応保2年(1162年)の「官宣旨案」(現在の裁判記録)に郡山の文字が記されています。天正8年(1580

年)筒井順慶が織田信長の力を背景に大和・一國を統一し、郡山の地に城を築いたのが城下町「郡山」の始まりです。

天正13年(1585年)筒井氏の国替えの後、豊臣秀吉の弟である秀長が大和・和泉・紀伊の三ヶ国で100万石余を領し、大規模な城郭を構築しました。近隣より商人・職人を集め酒造権を含めた保護政策により商工業の発展に努めました。(箱本制度)



豊臣秀長

徳川時代には水野、松平、本田家など譜代の功臣の歴藩後、享保9年(1724年)柳沢吉保の子吉里が甲府より国替え入部し、以後15万石として6代の藩主により明治維新まで147年間経済、文化の中心地として栄えました。

その後、明治21年の町村制の実施で「郡山町」、昭和29年1月奈良・高田に次ぐ県下3番目の市として「大和郡山市」が誕生し、現在に至っています。(人口 93,446人 35,461世帯)

### 大和郡山市の名所旧跡

#### 郡山城

城砦は別名犬伏城と呼ばれ、築城当時、その石材は奈良の古社寺などから集められ、石仏の刻み込まれたものが逆さ地藏と呼ばれています。また、桜の名所として毎年4月「お城まつり」が開催され、大変な賑わいを見せています。もともと、石垣に組み込まれた石仏の供養が始まりです。



郡山城



逆さ地藏

### 春岳院

大納言秀長の墓所（大納言塚）があり、肖像画や箱本制度の資料文献が保存されており、毎年4月22日には「大納言祭」が催されています。

### 柳沢神社、柳沢文庫

柳沢神社は吉保を祀る神社であり、柳沢文庫は歴代藩主の自筆の書類、絵画はじめ貴重な文化遺産を収蔵しています。



柳沢文庫

### 松尾寺

日本最古の厄除け寺で養老2年（718年）舎人親王が「日本書紀」完成と自身の厄除けを祈願して法隆寺東院住持永業禅師とともに建立したと伝えられ、厄除観音の寺として観音霊場、修験道霊場として信仰を集めています。



### 矢田寺

天武天皇の創建と伝えられ紫陽花の名所として有名です。約60種 8,000株。



### 稗田環濠集落

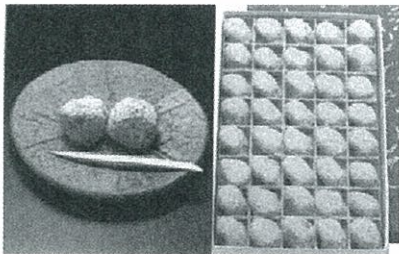
市内には環濠集落が多く、もともと散村状態にあったものが鎌倉末期から集村化していく中で、戦国時代に村の防衛を兼ねた水利目的の水路を周囲に巡らせたものと言われています。



## 大和郡山市の名物

### お城之口餅

天正の頃、秀長が太閤秀吉を茶会に招いたとき、秀吉が献上された餅菓子を気に入り「鶯餅」と命名、その後、郡山城大手門城の入口に店舗があったため「御城之口餅」と呼ばれるようになりました。



### 金魚

江戸時代より武士の副業として始められた金魚の養殖が盛んになり、山形県の庄内金魚と市場を二分するシェアを誇っていますが、近年、市場の低迷など養殖池は年々減少しているため、活性化に向け平成7年（1995年）から毎年8月第3日曜日に「全国金魚すくい選手権大会」を開催しています。



### 大和郡山市出身の有名人

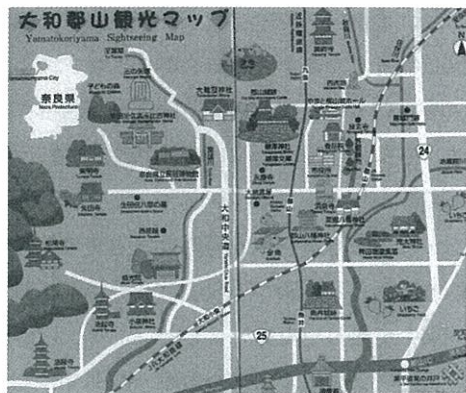
映画監督 井筒和幸氏、歌手 TOKIO 城島茂氏をはじめさまざまな分野で活躍されている方を輩出していますが、なかでもノーベル化学賞受賞者の福井謙一先生は有名です。

福井謙一先生は大正7年（1918年）奈良県生駒郡平城村大字押熊（現 奈良市押熊町）で誕生され、昭和56年（1981年）12月ノーベル化学賞を受賞されました。「化学反応の理論説明」。



福井謙一先生

城下町「大和郡山」の歴史に触れてみませんか……。



- ①城下町散策コース（徒歩105分 7km）
- ②矢田丘陵散策コース（徒歩140分 7km）
- ③修験道コース（徒歩80分 4km）
- ④田園散策コース（徒歩105分 7km）
- ⑤古代ロマンコース（徒歩120分 8km）
- ⑥金魚探索コース（徒歩半日）